

レーダー評価用キット – CARD用

概要

- miRadar® 8 <Card> レーダーモジュール利用
 - 名刺サイズ、小型軽量タイプ
 - 24GHz FMCW MIMO radar
 - Tx 2ch, Rx 4chの仮想8ch
- レーダー評価ソフトはPC上で動作
- 複数の物体の位置をカメラ画像と重ねて表示
- 計測した距離データと画像の保存が可能



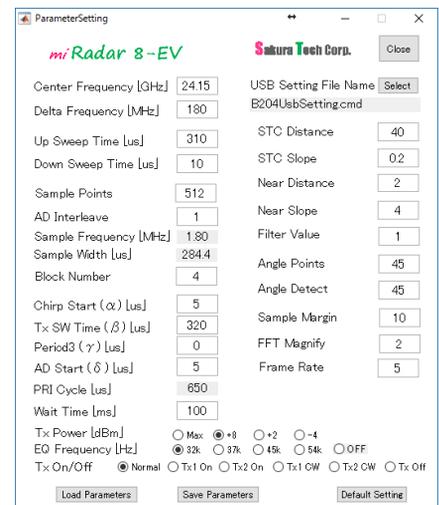
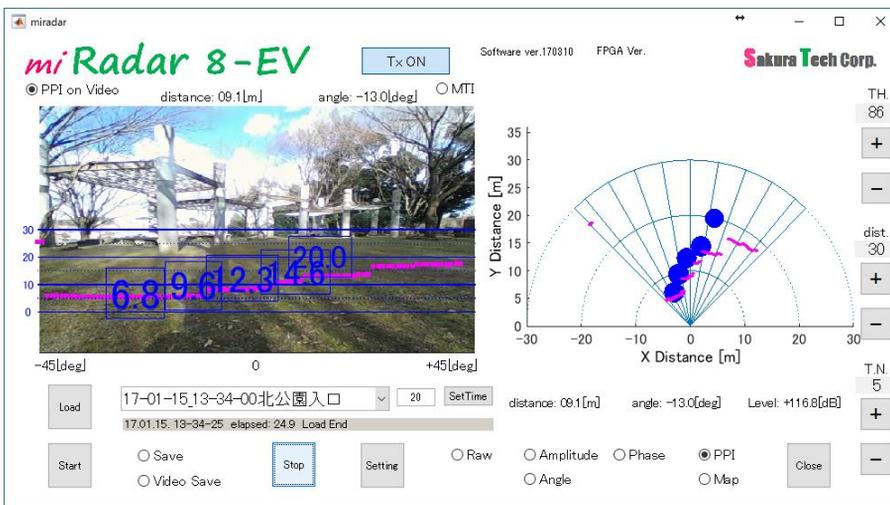
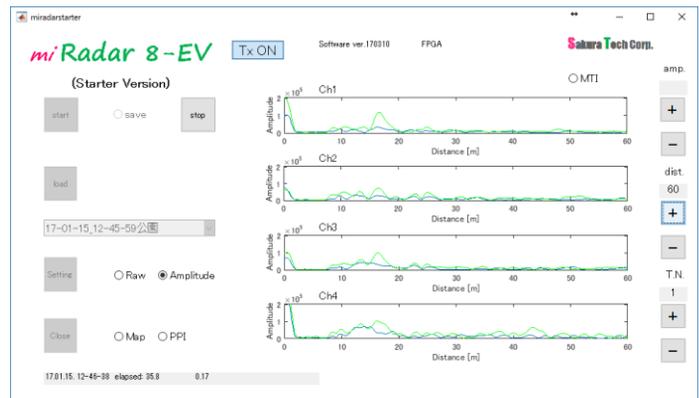
miRadar 8 <Card>



miRadar 8-VSM <Card>

付属評価ソフト

- レーダー動作の検証が可能
- 計測した距離データと画像を同時に保存再生する機能により、計測地点以外でもデータの再処理が可能
- MATLAB実行ファイルで構成
- リアルタイムに信号処理したグラフ表示
- 各種レーダーの動作パラメータの詳細設定が可能
- スターターバージョン（簡易版）にて、レーダーの基本動作が確認可能

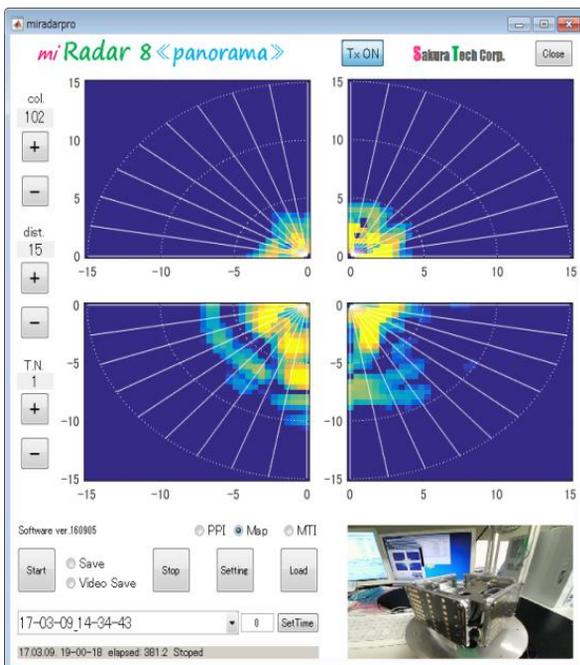
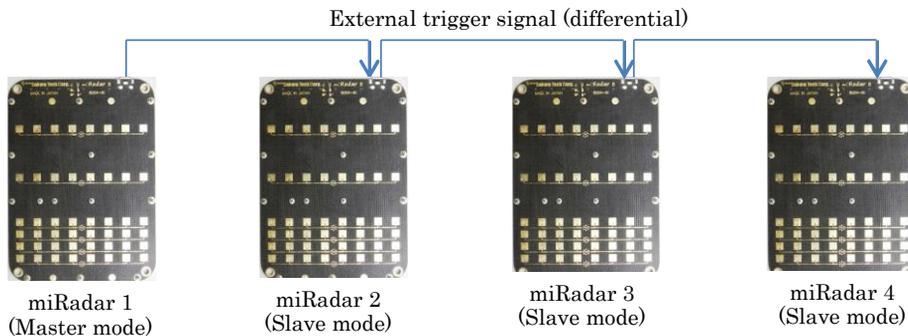


評価ソフトウェア (Professional Version) (B279-SW004)

4台のmiRadar® 8モジュールにより、全周(360°)の目標物検知が可能になりますが、複数台のレーダーを近距離で同時に動作させると、一般に電波の干渉が発生します。これを防ぐために、複数台のmiRadar®8の、送信出力が重ならないように、協調動作制御することが出来ます



外部トリガー入出力信号を接続することで、複数のmiRadarを同期して動作させることが出来ます。miRadar 1は外部トリガー信号入力がありませんので、マスターモードに設定します。miRadar 2, 3, 4はスレーブモードに設定し、外部トリガー信号入力により、同期して動作を行います。トリガー信号ケーブルは、弊社にご用命ください。



評価ソフトウェア (Professional Version) は、4台までのmiRadar®8を協調動作制御して処理結果を同時に表示する、評価ソフトウェア(Matlab実行ファイル)です。

表示できるグラフは、

- ① 方位検出処理後のカラーマップデータ
- ② 方位検出結果からシンボル化したPPIデータです

また、Standard Versionと同様に処理結果をファイルに出力し、他のソフトウェアとインターフェースする仕組みを用意しています。これにより、レーダー検知結果を後処理するソフトウェアを作ることが可能となります。

- 注1) USBハブを介してmiRadarモジュールを接続する場合、4ポートあたり3A以上のACアダプタによるセルフパワー給電が必要です。
- 注2) モジュール台数が多いほど、Core-i7等の処理能力の高コア数の多いPCが必要になります

C++ USBインタフェースSDK [Windows] (B279-OP001-01)

Visual Studio 2015 C++版

C++ SDKはモジュールのUSBのインタフェースライブラリに、その使い方のマニュアルが付属されています。独自に信号処理ソフトウェアを作成される場合、モジュールのUSBインタフェースを行うために、SDKが必要になります。

WindowsのVisual Studio 2015に対応しています。SDKはStatic Libraryになります。必要な場合は、Library部分のソース付きのご用意もありますのでご利用ください。

C++ USBインタフェースSDK [Linux] (B279-OP001-02)

Linux(ubuntu x86/64) g++版

上記C++SDKのLinux版です。X86/x64のUbuntuに対応しています。Linux版は、ソース付きのみの販売となります。

Matlab SDKソフトウェア(Professional Version) (B279-SW005)

複数台レーダー信号処理結果を利用して、システムソフトウェアのプロトタイプを開発することが出来ます。

このSDKは、上記Professional版評価ソフトウェアのMatlab p-コード、およびm-コード混載でのリリースとなります。信号処理コア部などは、p-コード、インタフェース部分等はm-コードとなっており、システムソフトウェアコードを追加していくことで、短期間にプロトタイプを開発することが可能です。

Matlab SDKソフトウェア(Pro1 Version) (B279-SW006)

複数台対応ソフトウェアProfessional Versionの、1台分処理に限定したソフトウェアです。評価ソフトウェアのレーダー信号処理結果を利用して、システムソフトウェアのプロトタイプを開発することが出来ます。

Matlabのp-コード、およびm-コード混載でのリリースとなります。信号処理コア部等はp-コード、インタフェース部分等はm-コードとなっており、システムソフトウェアコードを追加していくことで、短期間にプロトタイプを開発することが可能です。

型名

Product Name	Product Number	Comments
miRadar®8-EV2 <Card>	B279-01-EV2	Radar Evaluation hardware bundled B279-SW002
Radar Evaluation software	B279-SW002	Radar Evaluation software
Evaluation software (360°)	B279-SW004	360° , Evaluation software
C++ USB Interface SDK	B279-OP001-01	Windows
C++ USB Interface SDK	B279-OP001-02	Linux
Matlab SDK software	B279-SW005	360° , Development system software, multiple targets
Radar SDK software (Matlab)	B279-SW006	SDK for Radar application

サクラテック株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-6

VORT新横浜4階B号室

Tel: 045-548-9611

Fax: 045-548-9533

E-mail: info@sakuratech.jp

<https://www.sakuratech.jp>



アライアンスパートナー

